土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　その他水系　青影川　通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.2	**調査位置**	広島県尾道市因島中庄町			**北緯**	34° 18′ 52.8113″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			**調査期間**	2023年　2月 13日 ～ 2023年　2月 14日	**東経**	133° 09′ 56.4411″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 78.85m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工機　D1-B48		
総削孔長	5.00m								**エンジン**	ヤンマー　NFD-12	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図 0 10 20 30 40 50	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1	78.00	0.85		礫混じり砂		褐			第四紀	土石流堆積物に相当する。 マサ土質な粗砂と細礫分が主体をなす。 礫分はφ10mm以下で、特に細礫分が多い。 GL-0.80mに無水掘り水位を認める。	02/13 0.80															
	77.50	1.35		砂礫		灰褐	rd3			礫分はφ60mm以下。 粗礫分に富んでいる。 マトリクスは粘土質の細砂からなる。	02/14 1.40		71	1.15	3	4	43	50/10	210	210						
2	77.15	1.70		風化花崗岩		桃灰				大径の岩片状コア。岩片は硬いが割れ目が密集する。 【CL級岩盤、軟岩Ⅰに相当する】				1.36												
	76.40	2.45		弱風化花崗岩		桃灰				10cm前後の短柱状コア主体。岩片はやや新鮮で中硬質以上の硬さを有す。高角および低角の割れ目が発達するが、密着するか、鋭い形状をなしている。 【CM級岩盤、軟岩Ⅱに相当する】				2.00	貫入不能			50/0								
	76.00	2.85		風化花崗岩		桃灰				割れ目が密集し、10cm未満のごく短柱状コアをなす。割れ目沿い風化しており、岩芯部も新鮮とは言い難い。 【CL級岩盤、軟岩Ⅰに相当する】				2.00	貫入不能			50/0								
3									白亜紀					3.00											2/13
				弱風化花崗岩		桃灰				10～20cm程度の柱状コア主体。 岩片は概ね中硬質である。 割れ目は低角のものが多く、割れ目沿いの風化程度は弱い。 3.33～3.52m間は割れ目密集し、局所的に角礫～岩片状コアをなす。 3.7～4.1m間、ごく弱い変質を被る。ただし、岩片が特に軟化しているものではない。 4.50～4.65m間にも変質細脈の分布を認める。 4.7～4.9m間、高角割れ目に沿って角礫化するが、実幅は3～4cm程度と見て取れる。 【CM級岩盤、軟岩Ⅱに相当する】				4.00	貫入不能			50/0						
4														5.00	貫入不能			50/0							
5	73.85	5.00												5.00											2/14
6																									
7																									
8																									
9																									